

アジア中東	<b>World Ageing Festival</b> 2024/5/6-10	シンガポール シンガポール	Marina Bay Sands Expo and Convention Centre	Ageing Asia Email: aaif@ageingasia.com https://www.worldageingfestival.com	〈出展製品〉在宅・地域ケア/アクティブエイジング/福祉生活・エイジテック/金融・ライフスタイル/リハビリテーション/高齢者住宅・ケア 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 5,000人以上 出展社: 100社以上 (50か国・地域)
	<b>Hong Kong International Medical and Healthcare Fair</b> 香港国際医療保健展 2024/5/16-18	香港	香港会議展覧中心 Hong Kong Convention and Exhibition Centre	香港貿易發展局 Hong Kong Trade Development Council Tel: 03-5210-5850 Email: tokyo.office@hktcdc.org https://www.hktcdc.com/event/hkmedicalfair/en#	〈出展製品〉 バイオテクノロジー/病院設備/医療用品・消耗品/リハビリ用品・高齢者介護用品 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 10,322人 出展社: 308社 (6か国・地域) 出展面積: 6,500㎡
	<b>Assistive Technology for Life (ATLife)</b> 2024/5/16-19	台湾 台北	台北南港展覧館 (TaiNEX)	Chan Chao International Co., Ltd. https://www.chanchao.com.tw/ATLife/en/	〈出展製品〉 移動補助具/家庭補助具/コミュニケーション補助機具/リハビリ/エクササイズ/レクリエーション/スマートケア/呼吸ケア/義肢・装具 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 109,256人 出展: 190社 (10か国)
	<b>CHINA AID</b> 上海国際福祉機器展 2024/6/13-15	中国 上海	上海新国際博覧中心 (SNIEC)	上海国展展覧中心有限公司 Shanghai Intex Exhibition Company Co., Ltd. Tel: +86 21-62951263 (日本語対応可) http://www.china-aid.com/ja (日本語サイト)	〈出展製品〉 高齢者介護サービス/介護・福祉機器/高齢者向け住宅/リハビリ/健康・ヘルスケア 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 47,030人 出展: 403社 (12か国・地域) 展示面積: 40,000㎡
	<b>MEDICAL TAIWAN</b> 台湾メディカルヘルスケア 2024/6/20-22	台湾 台北	台北南港展覧館 (TaiNEX)	台湾貿易センター東京事務所 Tel: 03-3514-4700 Email: tokyo@taitra.org.tw https://www.medicaltaiwan.com.tw/en/index.html	〈出展製品〉 医療機器/医療消耗品・医療従事者向け衣料/高齢者介護・移動用機器/補助具・リハビリ機器・介護サービス・介護施設・介護用品・建築資材・建設サービス・事故防止用品・浴用品・ポジショニングシステム・フィットネス/スポーツ用機器) /ヘルスケア・美容関連用品/スマートメディカル(医療用ロボット・医療IoT等)/医療機器製造・部品/デジタルヘルス(遠隔医療・個別化医療等) 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 7,225人 出展社: 230社 (13か国) 展示面積: 3,600㎡
	<b>REHACARE CHINA</b> 中国国際リハビリテーション・福祉・介護器材展 2024/8/21-23	中国 蘇州	蘇州国際博覧センター Suzhou International Expo Center	(株) メッセ・デュッセルドルフジャパン Tel: 03-5210-9951 Email: mdj@messe-dus.co.jp https://www.rehacare-c.com/en	〈出展製品〉 インテリジェントリハビリテーション/子ども向けリハビリテーション/スポーツリハビリテーション/コミュニケーション/整形用具/リハビリ機器および治療/移動用機器および補助具/バリアフリー生活/医療 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 9,215人 (中国メディカルフェアを含む) 出展社: 約100社 展示面積: 10,000㎡
	<b>Care &amp; Rehabilitation Expo China</b> 中国国際リハビリテーション博覧会 2024/9/12-14	中国 北京	中国・北京・国家会議センター China National Convention Center	Poly Jinhan Exhibition Co., Ltd. Email: CRCinfo@polycn.com https://www.crexpo.cn/jp/ (日本語サイト)	〈出展製品〉 リハビリ施設設備/義肢・矯正器及び関連製品/医療用補助具/移行用補助具/歩行補助具/生活補助具/在宅用補助具/視聴補助具/情報コミュニケーション補助具/通信介護電子設備/ウェアラブル型リハビリテーションロボット/健康管理システム/福祉車両/スロープ・手すり/エレベーター、リフティング/警告マーク、装置/設計企画 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 35,000人 出展社: 300社 展示面積: 25,000㎡
	<b>China International Rehabilitation and Personal Health Show</b> 中国リハビリ展【秋】 ※同時開催: CECC (中国国際高齢者ケア看護展)、Life Care (中国国際家族健康ケア・介護用品展) 2024/10/12-15	中国 深圳	深圳国際会展中心 Shenzhen World Exhibition and Convention Center	RX Japan 株式会社 Tel: 070-1509-9881 E-mail: marina.nemoto@rxglobal.com https://www.rehabshow.com.cn/home/index	〈出展製品〉 プレインコンピューターインターフェース/リハビリ・介護ロボット/高齢者介護用品・設備/睡眠補助製品/リハビリテーション工学機器/アシスト機器/義肢装具など 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 302,963人 出展社: 100社以上 (50か国・地域)
	<b>SIC (Silver Industry China)</b> 中国国際シルバー産業博覧会 2024/11/15-17	中国 広州	広州保利世貿博覧館 PWTC Expo	Guangzhou Poly Jinhan Exhibition Co., Ltd. Email: SICinfo@polycn.com https://www.silverindustry.cn/jp (日本語サイト)	〈出展製品〉 歩行補助具/視覚補助具/補聴器/装具/バリアフリー施設/高齢者にやさしい建材・バスルーム用品・家具・建築設計・建築設計用品/フットウェア/着衣や脱衣などの補助具/製品・身体保護具/転倒防止用品/毛髪ケア用品/口腔看護用具・物品/看護用ベッド/床ずれ予防・治療用品/失禁ケア用品/薬剤/創傷ケア用品/治療用品ほか 〈開催規模〉(2023年実績) 来場者: 50,000人 出展社: 350社以上 (16か国・地域) 展示面積: 22,000㎡

## H.C.R.2023 開催REPORT

みんなの会議 伝え・伝わる工夫展

2023年9月27(水)~29日(金) / 全9回 東京ビッグサイト 東1ホール



障害のある登壇者を交えた会議の実演

「会議」には、職場や学校、町内や家族などの身近なものから、学会や国会、国際会議など大規模なものまでさまざまな種類があります。こうした会議に、障害の有無や年齢の高低にかかわらず誰もが参加できる工夫や配慮について整備しまとめたものが「高齢者・障害者配慮設計指針-アクセシブルミーティング」です。H.C.R.2023では、主催者企画として共用品推進機構およびNTTクラリティ(株)の運営協力を得て、「みんな」が会議に参加できるようにするための工夫が施された実演を3日間で全9回にわたり行うとともに、最新機器を含むコミュニケーション支援機器の展示説

### 誰もが参画できる “アクセシブル”な未来をめざして

議長: 春風亭 昇吉氏 落語家/一般社団法人落語ユニバーサルデザイン化推進協会代表理事  
企画運営協力: 公益財団法人共用品推進機構、NTTクラリティ株式会社

明を行いました。

実演には、落語家で一般社団法人落語ユニバーサルデザイン化推進協会代表理事である春風亭昇吉師匠を議長にお迎えし、3人の障害のある人が会議参加者として登壇して各テーマに沿った会議を行い、毎回満場の観覧者を得ました。

この会議実演で扱うテーマは「住まい」「交通機関」「飲食店」「観光」「エンターテインメント」など多くの人が利用するモノ・コトで、各回異なるテーマを取り上げ、各30分間の会議が行われました。

第1回のテーマは「コンビニ」で、初めに「商品選

び」についてそれぞれの立場から発言がありました。企業にお勤めの視覚障害があるAさんは、1人で店内を回ることが難しいため、毎回店員に誘導してもらおうと。しかし、忙しい時間帯はなかなか頼めなかったり申し訳ないとの気持ちになったりするため、欲しい物を伝えれば運んでもらえるロボット設備があれば助かるとのことでした。一方、聴覚障害があるBさんは足音などが聞こえないため棚の角で他の客とぶつかりそうになることがあり、店内に設置された防犯用の鏡を確認しながら歩くそうです。この点は身体障害があり車いすユーザーで企業に勤務されているCさんも同

次ページへつづく



様だと語りました。さらに、車いすは目線が低い  
ため、背の高い棚が並ぶ店内ではどこに人がいるのかわ  
かりづらいのだそうです。加えて、ドリンクコーナーの  
扉を開閉する際、自身の車いすがじゃまになることが  
あると語り、扉が横にスライドするタイプになればこう  
した不便が解消されるのではないかと提言しました。

次に「レジでの支払い」について意見が交わされま  
した。Bさんは会計時に店員から「箸」「袋」「温め」  
「ポイントカード」などさまざまなことを質問されます  
が、聞き取ることができないため、セルフレジを活用  
していると話しました。一方で、Cさんは指先にまひ  
があるためセルフレジは使いづらさを感じるものが多  
く、Aさんはタッチパネルがどのように並んでいるの  
か見識できないためセルフレジを使うのは難しいと語  
りました。駅の券売機や銀行のATMのように音声案内  
があり、テンキーで操作できると便利だと提言しま  
した。

昇吉師匠は三者の意見を受けて、「いろいろな立場  
の人が会議に参加することで、思いもよらない気づき  
や発見が共有される点が『みんなの会議』の良さで  
す」と述べました。これらの様子が、手話通訳のほ  
か、発言内容がスクリーンモニターに映し出され会議



みんなの会議実演の様子

参加者やそれを見ている来場者に要約筆記というかた  
ちで共有されながら実施され、その場の全員に情報が  
届きました。

第9回のテーマ「エンターテインメント」では、昇  
吉師匠は障害がなくても両手に荷物を持っていると劇  
場や映画館の跳ね上げ式座席は使いづらく、また、座  
席を案内する音声アプリがあると誰にとっても便利だ  
と語り、あらためてユニバーサルデザインの必要性を  
強調し、「こうした困りごとの解決は障害がない人に  
とっても便利な環境につながる」と語りました。



本企画では多彩なコミュニケーション支援機器の展示紹介も実施

さまざまな人が集まって行う「みんなの会議」で  
は、わかりやすい資料の作成、見やすいボードの表  
示、手話通訳者や要約筆記の用意、高さ調節付き会  
議機の整備、対話支援スピーカーや字幕表示透明版、  
文字起こしアプリなど最新機器の活用など、さまざま  
な工夫や配慮をし、多くの場で実践されることが求め  
られます。令和6年4月より合理的配慮が民間企業に義  
務化されるにあたり、こうした工夫や配慮がなされた  
アクセシブルな場が社会の中にいっそう広がっていく  
ことが期待されます。

## エンジョイアクティブゾーン “Gotcha!” / トークショー

2023年9月29日(金) 11:00 ~ 12:00 東京ビッグサイト 東6ホール



写真左：藤田 悠介氏 右：湯口 英理菜氏

# パラリンピアンを支える技術と 選手との絆

藤田 悠介氏

公益財団法人 鉄道弘済会  
義肢装具サポートセンター  
義肢装具士

湯口 英理菜氏

パラ陸上アスリート

日常用義足と  
スポーツ用義足の  
違い

### 両足義足で走る前例のない大きな挑戦

藤田氏は、公益財団法人鉄道弘済会に所属し、義肢  
装具士として現在まで約14年活動されており、主にス  
ポーツ用の義足（陸上、バドミントン、筋力トレーニング  
など）を中心に製作を行っています。湯口氏は、3歳の  
頃に先天的な病が原因で大腿骨から下の両足を切断  
し、義足で生活をしています。2023年4月日本パラ陸  
上選手権大会において走り幅跳でアジア新記録を樹  
立、9月には200m走で世界新記録を樹立するなど、日  
本パラ陸上界期待の選手です。

湯口氏とスポーツ義足の出会いは、中学生の時に藤  
田氏が所属する（公財）鉄道弘済会 義肢装具サポー  
トセンターを訪れたことがきっかけです。湯口氏の日常  
用義足はコンピューター制御などが付いてないシンプル  
な義足で、これを両足に履いて自身の力とバランスだけ  
で歩くことは非常に難しく、藤田さんの師にあたる白井  
二美男氏が、湯口氏の歩く姿を見てスポーツ用義足をつ  
くることを提案しました。

両足のひざから上が義足で陸上競技に取り組む人は  
それまで日本で1人もいなかったため、藤田氏や鉄道弘  
済会にとっても、湯口氏の両脚に合うスポーツ用義足を  
製作しサポートすることは国内でも前例がない大きな挑  
戦でした。

### 選手の努力と義肢装具士の技術が記録をつくる

初めてスポーツ用義足を装着したときのことを振り  
返り、湯口氏は次のように語りました。「日常用義足  
に比べて接地面が少なく、立っているだけでもすぐく

体幹を使うため、こんな状態で本当に走れるようにな  
るのが不安でした」。一方、藤田氏は日々上達してい  
く湯口氏の身体能力の高さを感じつつも、これまで  
走った経験がない湯口氏に、走る動きに必要な「跳  
ぶ」「跳びはねる」の理解につながるよう言葉で表現  
し伝えることは、想像以上に難しさがあったといいま  
す。それでも地道に練習を重ねた結果、湯口氏は少し  
ずつ走れるようになっていきました。

その後、怪我などを乗り越えて進学した大学では、  
本格的なウエイトトレーニングにより体型の変化が生  
じ、その都度藤田氏が義足の調整を行ってきました。  
また、湯口氏が欧州で練習をする機会には、義肢装具  
における先進国といわれる専門家から受けたアドバイ  
スやノウハウを日本に持ち帰っては藤田氏と共有する  
など、共同でより良い義足を作りあげてきました。

同時期には、走り幅跳びにも本格的に取り組むよう  
になった湯口氏。ウエイトトレーニング専用の義足や  
プールトレーニング用にフィンを付けた義足の製作な  
ど、藤田氏の義肢装具士としてのサポートの幅は多岐  
にわたりました。

### レベルの高い義足陸上競技で、世界へ挑む

湯口氏は、2024年8月にパリで行われるパラリン  
ピックへの出場を目指しています。藤田氏は、義足の  
陸上競技の現状について、「選手も義肢装具士も生半  
可な力の注ぎ方では勝てません。例えば、右の膝下が  
義足のパラ陸上選手マルクス・レーム選手（ドイツ）  
は、走り幅跳びで8m72cmの記録を出しました。健



写真左：日常用義足 右：スポーツ用義足  
(写真提供：公益財団法人 鉄道弘済会)



常の男子走り幅跳びの世界記録が8m95cmで、レベ  
ルの高さが伺えます。世界のパラ選手と競い合うのは  
とても厳しいこと」と述べてつ、毎日ハードなト  
レーニングを積んでいる選手に敬意を払い、良い記録  
につながるよう義肢装具士としても最善を尽くし、選  
手と共に挑戦していきたい」と義肢装具士としてのサ  
ポートにかける想いを語りました。

湯口氏は、「障害があることで大変だと感じるこ  
ともあるが、陸上競技でも普段の生活でも、常に目標  
を持つことで強い自分でいられる。また、そんな自分  
を支えてくださる周りの方への感謝の気持ちを忘れず  
に、世界を目指していきたい」と語りました。その言  
葉に藤田氏が「メダルを取ったら号泣しちゃうな」と  
話すと、湯口氏は「叶えられるように頑張ります！」  
と笑顔で返し、会場内も2人へのエールを送る温かい  
拍手に包まれました。